令和８年度

一般入学試験問題

（特別進学科）

国　語

２月２日（月）

注　意

1　監督の先生から、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。 2　この問題とは別に１枚の解答用紙があります。 3　問題用紙と解答用紙両方のきめられた欄に受験番号を記入しなさい。 4　**解答用紙の受験生シール貼付欄にシールを貼り付けなさい。** 5　机の上には、受験票・受験生シール・鉛筆・鉛筆けずり・シャープペンシル・消しゴム・定規以外のものをおいてはいけません。 下敷きは、監督の先生の許可を受けてから使用しなさい。 6　筆記用具などの貸し借りをしてはいけません。 7　問題を読むとき、声を出してはいけません。 8　印刷が悪くてわからないときや、筆記用具などを落としたときなどは、だまって手をあげて、監督の先生に知らせなさい。 9　監督の先生の「止め」という合図があったら、すぐに止めなさい。

答えの書き方

1　問題をよく読んでから答えなさい。答えは、すべて鉛筆またはシャープペンシルで解答用紙に記入しなさい。色鉛筆を使ってはいけません。 2　答えは、はっきりとていねいに書きなさい。なおすときは、きれいに消してから新しい答えを書きなさい。 3　メモには、問題用紙の空白を利用しなさい。

受験番号	

一　次の文章ＡとＢは沢木耕太郎『「きく」ということ』の文章である。あとの問いに答えなさい。

本文省略

問一　傍線部ⓐ～ⓓのカタカナを漢字に直し、漢字はひらがなで読みを書きなさい。

問二　傍線部①とあるが、これはどういうことを意味するか。説明として適当なものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

ア　インタヴュアーにとって未知の「こと」を知るために行うということ。

イ　質問を重ねることで相手の心の内奥に触れるために行うということ。

ウ　相手の意識していないことまでも訊き出すために行うということ。

エ　相手の「知らないこと」だけを訊き出すために行うということ。

オ　相手の「知っていること」を訊くために行うということ。

カ　相手が無意識に話し、愕然とさせるために行うということ。

問三　本文の空欄Ｘは漢字二字でＹは漢字一字で適切な言葉を入れなさい。

問四　文章Ａにおいては、インタヴューの相手から話をうまく引き出し「聴く」ために、どういう工夫が重要だと述べているか。解答欄の末尾の「～工夫が重要であること。」に続くように三十字以内で説明しなさい。

問五　傍線部②とあるが、「名前だけののっぺらぼうの存在」とはどういう存在か。三十字以内で説明しなさい。

問六　文章Ｂより読み取れる、生き生きしたやりとりのあるインタヴューをするために求められるものは何か。解答欄の末尾の「～人間としての力量。」に続くように七十字以内で説明しなさい。

問七　文章Ａと文章Ｂにおける筆者の意見及び二つの文章の関係に関する説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　Ａでは、インタヴューの目的を示し、大切なのは「話す」ことだと主張しているが、Ｂでは、訊かれた人が自分自身のことを「話す」意義を

違う角度で掘り下げている。

イ　Aでは、インタヴューする人が「話す」ことで見せる大きな変化を示しているが、Bでは、個人的なことに相手は関心がないため、「話す」必要はないと否定している。

ウ　Aでは、インタヴューのタイミングと内容を工夫すべきだと提示しているが、Bでは、例を出してそのことの大切さを証明しながら再度強調している。

エ　Aでは、経験を通して得たインタヴューをするうえで大切なことを述べているが、Bでは、それが大切である理由を具体例を用いて説明し、意見に説得力を持たせている。

二　次の文章は村山由佳『約束』の一節である。僕（ワタル）はいつも一緒に仲間と遊んだり叱られたりしていたが、ある日、一番元気だったヤンチャが原因不明の難病にかかり入院してしまった。仲間のノリオとハム太とともに見舞いに行った帰りに、土手を歩きながら僕は未来の世界からヤンチャを治せる医者を連れてきたいと思い、「タイムマシンがあればいいのに」と仲間に話す。次の文章はそれに続く場面である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合で本文の上に行数を付けてある。

【　注　】

1…空想の世界にひたってしまうくせ。

2…ＳＦ映画。科学的な空想に基づいた映画。

問一　傍線部ⓐ～ⓓのカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二　本文冒頭から37行目までは、「タイムマシン」の本に関する「僕」とノリオやハム太らのやりとりが描かれているが、このときの三人についての説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　「僕」は自分が失敗した過去の話になるのを避けようとしているが、ほかの二人はその話を何度も蒸し返しからかおうとしている。

イ　「僕」はタイムマシンでヤンチャを治せると信じ込んでいるが、ほかの二人は友人を治せるのは医療の進歩しかないと考えている。

ウ　「僕」はタイムマシンの本を読んだ感想を詳しく知りたいと思っているが、ほかの二人はその話題で盛り上がりたいだけである。

エ　「僕」はタイムマシンが実際にあるかもしれないと想像しているが、ほかの二人はそんなものはうそにすぎないと確信している。

問三　傍線部①とあるが、「僕」はなぜそのように感じたのか。次の説明文の空欄⑴、⑵に入る適当な言葉を解答欄の指定字数に合うようにそれぞれ本文より抜き出しなさい。

説明文　ノリオもハム太も、タイムマシンが【⑴　十二字　】願う気持ちは同じだと信じていたのに、【⑵　八字　】と否定するだけでなく、本気にする「僕」をからかったから。

問四　傍線部②とあるが、このときのヤンチャの気持ちを七十字以内で答えなさい。

問五　本文で繰り返し使われる傍線部A～Dの「……」の表現の説明として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　傍線部Aは、面白い話とだけタイムマシンをとらえるハム太にあきれ、今度は反撃しようと言葉を考えている様子を表している。

イ　傍線部Bは、事実に反する回答をするようノリオとハム太に目線で迫られ、どうしようかと言葉に詰まっている様子を表している。

ウ　傍線部Cは、タイムマシンに少しはあこがれるが、実際は自分の病気を治すことは不可能だと深く絶望している様子を表している。

エ　傍線部Dは、元気なころのヤンチャと現在の姿を比べて、自身の力で必ず元の姿に戻したいと強く願っている様子を表している。

三　次の【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】は、江戸時代の長州藩（現在の山口県）の武士で、松下村塾を開いて教育し、明治維新で活躍した人材に大きな影響を与えた吉田松陰の言葉とその解説である。これを読んで、あとの問に答えなさい。

【文章Ⅰ】

注1君子（くんし）は注2道義なきを恥ぢ、注3小人（しょうじん）は名誉なきを恥づ。君子は才能なきを恥ぢ、小人は注4官禄なきを恥づ。（中略）注5抑々（そもそも）恥の一字は注6本邦（ほんぽう）武士の常言にして、恥を知らざるほど恥なるはなし。

安政三年五月十四日「講孟箚記（こうもうさつき）」より

【文章Ⅱ】

君子の交（まじわり）は淡きこと水のごとく、小人の交は甘きこと醴（あまさけ）のごとし。その味も知るべし。君子道義の交は、淡き故（ゆえ）に久しうして変ぜず。小人利欲の交は濃き故に久しからずして変ず。

安政三年五月二十九日「講孟箚記」より

【　注　】

1　君子…立派な人物。　2　道義…人としての踏むべき道や正義。　3　小人…つまらない人物。
4　官禄…地位や給料。　5　抑々…だいたい。　6　本邦…日本。

【Ⅰの解説】

前半は「立派な人間が恥じるのは、人として踏むべき道をはずすことや才能がないことである。一方、つまらない人間が恥じるのは、名誉がないことや（　A　）がないことである。」という内容である。この言葉は、立派な人間は（　B　）面の充実が大事だと心得ているが、たいしたことのない人間は（　C　）面を飾ることばかり気にしているということである。

後半では、武士が常に考えるべきは、自分の言動が（　D　）かどうかであり、それを判断できない武士は一番（　E　）存在だと主張している。己の行動を振り返り、いつも自分に向けて問いかけることの大切さを示している。

【Ⅱの解説】

これは松陰が、中国の思想家である荘子の格言を引用しながら人の交際について述べている。「その味も知るべし」とは、「君子の交わり」と「小人の交わり」の味を比べれば、違いは明らかにわかるだろうということである。

問一　【Ⅰの解説】のA・D・Eの空欄（　　）にあてはまる適当な言葉を五字以内で書きなさい。

問二　【Ⅰの解説】の空欄（　B　）及び（　C　）には対照的な言葉が入る。それぞれに入れるのに適当な言葉を漢字一字で書きなさい。

問三　【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】より共通してうかがえる「君子」の交際と「小人」の交際の違いは何か。それを説明した次の文の［　　］に入る言葉を書きなさい。ただし、⑴と⑶は【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】の中の言葉を漢字二字でそのまま抜き出して書きなさい。⑵と⑷はあてはまる適切な言葉を、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

「君子」の交際は［⑴　　］を重んじるため、［⑵　　］ものだが、
「小人」の交際は［⑶　　］を重んじるため、［⑷　　］ものだということ。

ア　互いに競い合う交際で、時間が少し経過すると変わってしまう
イ　つながりの強い交際で、時間が少し経過すると変わってしまう
ウ　距離を保ったさっぱりした交際で、長い時間が経過しても変わらない
エ　数多くの人とのできるだけ広い交際で、時間が経過しても変わらない